

掲載日 (2024/5/15)

## 書籍の概要

日本は周りを海に囲まれた島国であり、国境の島々は国土の周辺地域として位置づけられてきた。だが、海洋資源に対する関心や領海意識の高まりなどにより、日本を取り巻く海洋環境は、今世紀に入り大きく変化してきた。これに加えて政治経済のアジアへのグローバル・シフトに伴い、これまで国土の「はて」として位置づけられてきた日本の島々は、今やアジア諸国を視野に入れた国境地域としてダイナミックに変動しつつある。本書では九州・沖縄地域の島々を事例として、アジア諸国の経済成長に伴い急増してきた海路により国境地域を訪れる訪日外国人旅行者の現状と、それに対する地域社会の対応について考察し、その問題点や今後の課題について検討した。

## 著者から一言

私は政治地理学を専門としており、境界研究は政治地理学の古くからの研究テーマです。本書は九州大学での最終年度(2019年度)の講義内容をもとに書籍にまとめたものです。本書では、日本を取り巻く海洋環境が大きく変化し、日本の国境地域とりわけ九州・沖縄地域の国境離島の重要性が高まっていることを強調しようと考えました。これは、世界経済のアジアへのグローバルシフト、海洋資源への関心の高まりによる海洋の領域化の進行、中国・北朝鮮などの軍事的脅威の高まりによるもので、本書では対馬・石垣・宮古・与那国を事例に考察しています。

九州大学名誉教授 高木彰彦

### 【お問合せ先】

九州大学名誉教授 高木彰彦 (タカギアキヒコ)

E-Mail : takagi.akhiko.736\*m.kyushu-u.ac.jp [\*を@に換えてください]



## 国境の島々のダイナミクス インバウンド観光をめぐる九州・沖縄の ポジショナリティ・シフト

高木彰彦 著

古今書院/208 ページ/2023年12月出版

### 目次

#### 序章

第1章 グローバル化と境界研究の新たな展開

第2章 海洋を取り巻く環境の変化

第3章 訪日外国人旅行者数の増加とその要因

第4章 日本の国境地域のダイナミクス  
-九州・沖縄地方の島々を中心に-

終章 まとめと考察

コラム 国境の街 稚内

特別寄稿 我が国の出入国在留管理制度  
の実情と課題/君塚宏執筆